

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		平成29年 第7回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		平成29年6月15日(木)		場 所		教育長室	
会 議 時 間		(開会)午後 1時00分 ～ (閉会)午後 2時20分					
休 憩 時 間		①(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分 ②(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分					
委 員 の 出 席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	野田 美和子	出席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
		委員	吉原 慎吾	欠席	出席委員3名、欠席委員1名		
出 席 説 明 員	教育次長兼教育庶務課長 山本 裕		出席	教育次長 道端 祐一郎		出席	
	未来の教育課長兼教育研究センター 所長 廣田 恵子		出席	図書館長 山崎 みどり		出席	
	学校教育課長 吉田 明生		出席	市立高校事務長 山口 和博		出席	
	青少年育成課長 東谷 勝美		出席	ひととものづくり科学館 副館長 浅野 幸恵		出席	
	博物館・美術館館長 二木 裕子		出席	教育庶務課参事 池田 美和子		出席	
			出席			出席	
書 記							
傍 聴 者		0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【議案】						
	議案第7号 小松市立高等学校教職員の人事評価に関する規程について(市立高校)						
	議案第8号 平成 29 年度優良 PTA 会員小松市教育委員会表彰被表彰者について (青少年育成課)						
	議案第 9 号 松東地区 3 小学校統合後の校名・校歌・校章について(教育次長)						
	【報告事項】						
	・博物館・美術館の展覧会及び行事について(博物館・美術館)						
	・中学生サミットについて, 子育て講座について(未来の教育課・教育研究センター)						
	・図書館行事等について(図書館)						
	・平成 30 年度小松市学校給食調理等業務委託の指名型プロポーザルの実施について (学校教育課)						
	・平成29年度小松市立小学校教科用図書(道徳)採択委員会設置要綱について (学校教育課)						
	・夏のイベントについて(ひととものづくり科学館)						

教 育 委 員 会 報 告

平成29年6月15日

【議 案】	
議案第7号 小松市立高等学校教職員の人事評価に関する規程について	
所管部課名	市立高校
内 容	既に県立学校教職員については、人事評価制度を運用していることから、「学校教職員石川県立学校教職員の人事評価に関する規則」を準用して「小松市立高校教職員の人事評価に関する規程」を制定し、能力評価及び業績評価に区分し人事評価を実施するもの。施行は平成 29 年 4 月 1 日からとする。
今後の方針	今年度の手当から反映する。
教育委員等の意見	
	議案第7号 承認
議案第8号 平成 29 年度優良 PTA 会員小松市教育委員会表彰被表彰者について	
所管部課名	青少年育成課
内 容	(資料あり) 優良 PTA 会員教育委員会表彰要項に基づき、小松市立学校 PTA 連合会の推薦のあった3名を表彰する。 被表彰者 ・岡田 直樹氏 ・嶋田 直子 ・丸山 佳世子
今後の方針	特になし
教育委員等の意見	特になし
	議案第8号 承認
議案第 9 号 松東地区 3 小学校統合後の校名・校歌・校章について	
所管部課名	山本教育次長
内 容	(資料あり) 松東地区3小学校統合後に創設される小学校の校名・校歌・校章等について、検討委員会を設置し、検討を行ってきた。 ・校名について 校名の候補として①「小松市立松東みどり学園」、②「小松市立松東学園飛翔」の2つの候補より決めていただきたい。 校名の意味

	・松東:地域に親しまれ地域そのものを表す名称となっている。 ・みどり:3種類の漢字のみどりの意味を表すためひらがなで「みどり」とした。 ・緑=里山の木々の緑(たくましい生命力) ・翠=翡翠^{かわきみ}のすむ清流(清らかで澄んだ心) ・碧=山々に産する碧玉(磨かれて光る知性) ・学園:平成30年4月に3小学校が統合し、平成33年4月に松東中学校と一体化し、義務教育学校となることから。 ・飛翔:地域から世界に羽ばたく。 今後の予定として ・校歌について 校名が決定後、三國浩平氏に、作曲及び曲に合わせた補作詞を依頼 ・校章について 現在の松東中学校の校章は4枚の葉っぱが使われている。小学校3校と松東中学校の4校が一体化し義務教育学校となることに伴い、現在の松東中学校の校章を元に市立高校芸術コースの生徒に候補作の作成を依頼、選定委員会で決定をする。
今後の方針	
教育委員等の意見	
	議案第9号 校名を「小松市立松東みどり学園」に決定。 校歌、校章の今後の予定について了承。
【報告事項】	
件名	博物館・美術館の展覧会及び行事について
所管部課名	博物館・美術館
内容	(チラシあり) 1. 展覧会について ・博物館 企画展「発掘品からみる 城下町のくらし～大川遺跡出土品より～」 石川県・小松市によって行なわれた大川遺跡の発掘調査の資料から、当時の城下町のくらしを紹介。 ・本陣記念美術館 企画展「艶と煌きの美 漆工と金工の技」6/20～9/3 漆の艶はなめらかで落ち着いた美しさをもち、一方金属の煌きは硬質で素材自体に美しさを感じることができる。人の手が加わることで、漆や金属が美しく光り輝く様子をご覧ください。 ・宮本三郎美術館

	企画展「一枚の白紙と一枚の木炭があれば～宮本三郎のデッサン～」6/24～9/10 「天賦の素描家」と高い評価を得た宮本三郎。そのデッサンの魅力を油彩画とともに紹介。第4回デッサン大賞展に向けて過去3回の買上げ作品もあわせて展示。 ・宮本三郎ふるさと館 企画展「宮本三郎 本と雑誌の仕事」6/24～9/10 宮本三郎が手がけた本の装丁、雑誌の表紙絵、挿絵などの仕事を紹介。 2. 夏のイベント【予定】 ・「化石発掘体験」7/22 博物館 ・「ビスマスを作ろう」7/23 博物館 ・「はじめての油絵に挑戦！」7/29 宮本三郎美術館 ・工作教室「ランプシェード&ミニアチュアルームを作ろう」7/29 ふるさと館 ・ナイトミュージアム&ライブラリー 7/29 17:00～20:00(夜間開館) 芦城公園周辺施設(美術館・博物館・図書館・空と子ども絵本館) ・「アートにチャレンジ in 松崎町」8/1 ふるさと館 ・「新・美術館散歩 工芸編」8/20 体験バスツアー(輪島漆芸美術館他)
今後の方針	
教育委員等の意見	
件 名	中学生サミットについて。子育て講座について
所管部課名	未来の教育課・教育研究センター
内 容	(資料あり) 1. 中学生サミット ①平成29年度の取組について 平成28年度は、昨年度の課題を踏まえて、本年度のアンケート結果の分析、ネットを考える日の取り組みをもとに、小松市全体としてどのように改善していくかの方向性を発信する。また、市 PTA 連合協議会と連携し、ネット問題について保護者と共に取り組む機会とする。 ②日時 平成29年10月14日(土)13:00～16:30 ③会場 小松市立芦城中学校 体育館 ④実行委員会について ・市内中学校生徒代表4名及び引率教員1名(生徒会担当者等) ・中学生サミットに向けての企画及び準備を行う。 ⑤第1回実行委員会

	・6月6日(火) 16:00～18:00 (小松市立芦城中学校) ・ネット利用のメリット・デメリットについてのグループ協議 2. 子育て講座について ①趣旨 ・子育てについての悩みを持つ保護者、教育関係者を対象に子どもや体の発達について知り、子育てに生かす ・小松市 PTA 連合会母親委員会と共催し、市内小中学校の保護者への啓発を図る ②日時・場所・人数 6月1日(火) 19:00～20:30 白楊幼稚園 67名 ③講師 多賀クリニック 小児科医 多賀 千之 氏
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ・今後も市 P 連と連携を取り、地域・保護者に啓発してほしい ・子供たち自らが考え、実行していくことが効果を高める。子供たちの意見を大切にしてほしい
回 答	・今後も市 P 連等と連携を取り、やっていきたい。 ・子供たちの意見が実現するように、実行委員会を運営していく。
件 名	図書館行事等について
所管部課名	図書館
内 容	(資料、チラシあり) ① こまつ市民読書の日講座 「やさしい古文書講座」を6月、8月、10月の3回シリーズで開催する。 講師は金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員の道下勝太氏。今回のテーマは「小松の水郷」で、第1回目は図書館所蔵で、市の文化財にも指定されている「小松旧記」を活用し、テーマに関連した古文書を読み解く。 ② テーマ展示 6月は、10日に「時の記念日」があり、また、梅雨入りも宣言されることから雨をテーマに、その関連本を並べたコーナーを設けた。 「時の記念日」のコーナーでは、筒井康隆の「時をかける少女」などの小説本から「時間の大研究」という児童図書まで、「時間」や「時」をテーマに、いろいろな本を集めてみた。 「雨の日には…」というタイトルをつけ、特に、ヤングアダルト向けの本をズラリと並べた。岩井俊慶の「心の雨の日の過ごし方」、「雨ふりの日に読む本」など。 ③ その他

	図書館では、本の配架や整理をしてくれるボランティアが、数人活動しているが、最近、高齢者の方が休まれたことから、常時来られる方が少なくなったため、6月広報で募集を始めた。早速女性2人の方が申し込まれ、6月はお試しで配架の仕事をしていただいている。7月から正式に活動。自分の都合の良い曜日(週何回でも)、時間(1日でも1時間でも可)に来ていただく。 今年度の『小松文芸』66号の原稿募集を開始した。これまで、締切が9月30日と蔵書点検で閉館中の期間であったため、直接原稿を持ち込む方の便宜を図り、開館中の10月5日に延長した。募集は小説、評論、随筆、エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳の各分野に亘る。 今年度より発行委員会の委員長に交替があり、表久美子芦城中校長より波佐尾雅人芦城小校長に委嘱された。また審査員で、短歌の田中清子氏が高齢のため、松下京子氏に交替した。 『新修 小松市史』は、昨年度産業編が発刊されたが、今年度より近現代編の部会が発足し、平成32年度の発刊を目指す。今年度は、町家、農家、神院など古い建造物を紹介する、建築編が予定。 その他、教育編、考古編の部会が活動しており、現在資料調査中。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ・図書館のボランティア募集は広報だけでは集まりにくいから、学校図書ボランティアにも呼びかけると若い年齢層が獲得できるのではないかな。
件 名	平成30年度小松市学校給食調理業務等委託の指名型プロポーザルの実施について
所管部課名	学校教育課
内 容	(資料あり) ・平成30年度 小松市学校給食業務委託 指名事業者を一覧で報告。 (株)ニッコトラスト、(株)グリーンハウス、(株)メフォスの3社を指名 ・委託業務開始までのスケジュールを報告。 ・委託事業者の選定にあたり、必要条件を説明。
今後の方針	・小松市学校給食調理等業務委託プロポーザル実施要領に基づき、スケジュールに従って事業者選定を行っていく。
教育委員等の意見	【北村委員】 ①指名業者は前回と同じか。また理由は。 ・委託事業者をどのような基準で選ぶのか。 適切な基準により、事業者を選定してほしい。
回 答	①(株)メフォスが新規の業者である 指名についての視点として業務実績、安全事故防止態勢の2点が整っているか

	による。特に安全事故防止体制については、安全衛生管理マニュアルが整備されているか。食中毒予防(異物混入防止対策の整備)、食物アレルギー対応の学校給食の実績が豊富であるかを考慮している。
件 名	平成29年度小松市立小学校教科用図書(道徳)採択委員会設置要綱について
所管部課名	学校教育課
内 容	(資料あり) ・平成29年度 小松市立小学校教科用図書(道徳)採択委員会設置要綱について報告。 ・平成30年度 石川県教育委員会使用教科書に採択方針について報告。 ・今後のスケジュールについて説明。
今後の方針	・設置要綱に基づき、公正確保を守り、教科書採択を行っていく。 ・できる限り多くの先生に展示場に来てもらうために、市内小学校あて周知・要請を行う。 ・小学校数が多く、教科書を回覧することは時間的に難しい。
教育委員等の意見	【北村委員】 ・できる限り多くの先生に教科書を見てもらい、意見を求めてほしい。 ・学校に教科書をまわすことはできないか。
件 名	夏のイベントについて
所管部課名	ひととものづくり科学館
内 容	(チラシあり) 7月から10月のイベントについて説明。 特別企画のわくわく恐竜ランド連動企画として ・絵本作家の宮西達也氏の講演会。また空とこども絵本館では、宮西達也氏のおはなし会とワークショップを開催。 ・埋蔵文化財センターとコラボし天体観察の研究体験 ・プログラミング教育への動機付けとなるようレゴプログラミング教室を夏により取り入れた。
今後の方針	
教育委員等の意見	【蘆邊委員】 駐車場の課題はあるが、周辺部の駐車場等も来館者に周知してほしい。
【その他】	
	次回教育委員会会議日程について 日時:7月20日(木)午後1時30分 場所:小松市役所 6階 教育長室
教育委員からの意見・提言	
北村委員	教育委員会内で各課が連携をして事業を行なうことはよいことだと思う。一般市民は担当課ではなく教育委員会としてとらえている。各課は、引き継ぎ、申し送り、留

	意点を把握して事業に取り組んでほしい。
野田委員	教育委員への連絡は、連絡網では仕事の関係で連絡が遅れることがあるため、一斉メールでお願いしたい。
蘆邊委員	①今年度サマー・アドベンチャースクールは取りやめになったのか。 ②児童の下校について不審者情報もあり、特に低学年の下校に関して、できるだけ一人での下校は避けるよう学校に働きかけてほしい。
回 答	①昨年度報告したとおり、サマー・アドベンチャースクールについては、実施団体の解散により現行のかたちでの実施は難しい状況である。それに代わるものとして、教育委員会主催による事業提案を執行部に対して行なっているが、継続審議となっており事業化には至っていない。(青少年育成課長) ②低学年と高学年では、授業時間が違い下校時間も違うが、できるだけ1人では帰らないようにする。(学校教育課長) ・わがまち防犯隊にもお願いをしていく(教育長)